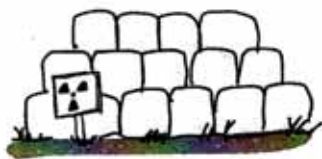




3月初めに福島市、飯館村、三春町、大玉村などをまわってきました。  
福島市内の中心部、テレビ局近くの空き地にも汚染土を入れたフレコンバッグが積み、そのすぐそばの信夫山の麓は形が変わるほどのフレコンバッグの集積場になっていました。放射能に汚染された廃棄物の山。

そして森友問題では、敷地の中にあるとされた「ごみ」で不正な値引き交渉が行なわれ、判決文書を改ざんするなど、いま日本中が大揺れです。

ごみ・環境ビジョン21の活動もNPO時代から数えると、今年5月で丸20年になります。生活の中のごみだけでも大変なのに、あってはならない放射能をおびたごみや不正なごみ問題がはびこる現状に、天を仰ぎつつ憤りでいっぱいになりますが、もう数日で新年度。桜の花を愛でながら深呼吸して、エネルギーをチャージしたいと思います。(E)



第10回

『生ごみリサイクル交流集会 in 多摩 2018』

開催日が決まりました！

3月14日に実行委員会開催し、登壇依頼者などを決めました。詳細が決まり次第、チラシやホームページなどでお知らせします。

日時：6月9日(土) 13:30～16:30

会場：国分寺労政会館 第3会議室

**\*引っ越しシーズンです\***

住所変更の際は事務局までご連絡を。

「アーカイブ通信」を同封しました

「市民アーカイブ多摩」をご存知ですか？ 同封した通信のp16にごみっと・SUNとごみかんの紹介記事を書かせてもらいました。市民アーカイブ多摩は、多摩全域のあらゆる分野のミニコミ誌などを収集・保存・公開している、いわば市民活動資料の図書館です。市民が拠出して開設、運営しています。とにかく収集している蔵書の数がすごい！ 大変貴重な活動なので、この機会にご紹介します。

総会に替えて

任意団体ごみ・環境ビジョン21は総会に替えて、2017年度活動報告、会計報告は会員全員に次号ごみっとに同封し、直接送付することになりました。



＊いののつぶや記

今号の「会員さんってこんな人」に登場していただいた吉森さん。ごみ問題に関心を持ったきっかけのひとつとして「ごまめ新聞に載っていた」と書かれています。



「ごまめ新聞」…な、な、なんと懐かしい!! だつてこの新聞を作っていたのは私なんです。ジョイコップという生協の環境平和委員になった30代半ばの私は、双子のことも手を離れつつあり、チェルノブイリ事故を受けての原発問題、日の出処分場問題を受けてのごみ問題を、組合員さんに発信したくて、相当なエネルギーをこのごまめ新聞に注いでいました。原稿を書いていたのはNPOごみかんの元理事のHさんや委員会のメンバーたち。私は手書き文字とカットで紙面を作りました。徹夜もいとわず作っていたなあ。

ごまめ新聞のタイトルの下には小さな文字でこう書いてあります。「ごまめの歯ぎしり小さいけれど、集まればつつげれば、誰かに届く、何かが変わる」。久しぶりにごまめ新聞を取り出してこの一文を読み、ちよつとじーんとしてしまいました。「思い」はまず吉森さんに届いていたのです。そして今また、決して動かないかと思っていた安倍政権が、ごまめたちがいつぱい集まって声を上げた結果、瓦解し始めています。ごみかんの活動もまたごまめの歯ぎしりですが、会員さんという類もしいごまめ仲間が集まることで、確かな力になっていくはず。無事に一年が過ぎたことに心からお礼申し上げます。そして次の一年も一緒に歯ぎしりしていただけますよう、継続をよろしく願っています。

ごみ・環境ビジョン21 

年会費 = 個人会員 3,000円 団体会員 6,000円  
賛助会員 10,000円 (一口)

郵便振替 口座名: ごみ・環境ビジョン21  
口座番号: 00130-1-603521

- ◆ごみっと・SUNのお受け取り方法は
  - ①ヤマト運輸のDM便
  - ②メール添付でのPDF配信 の二つがあります。
 ②をご希望の方はメールにてお申し込みください。
- ◆振替用紙にはご住所・お名前・お電話番号(FAX)をご記入ください。また、住所変更があった場合はお知らせください。DM便は移転先へ転送されませんので戻ってきてしまいます。
- ◆記事を転載する場合はご連絡ください。